

# ウェルカムパーティー

今年も小学校・中学校の発表会が2月15日に開催されましたが、多くの方が感動されたことと思います。ボストン東スクールからのお客様（ガーランド理事長をはじめとした先生方と保護者代表の方合計7名）も発表会を楽しみ、感謝の言葉を残して帰国されました。また、前日の2月14日には、武蔵野東学園の連合後援会と武蔵野東学園の共催により、ウェルカム・パーティが開催されました。連合後援会からは、各園校の会長、副会長が代表として出席し、歓迎の挨拶や記念品の贈呈等を行いました。今回は、記念品の一つとして小学校のエンジョイの皆さんが制作されたキャップ（野球帽）をお贈りしましたが、その際に、後援会会長・副会長が赤い靴下を履いてのパフォーマンスを行ったこともあって、ボストン・レッドソックスの話題で大変盛り上がりしました。その後も様々な話題で、英語、日本が入り乱れての楽しい交流が進み、一段と日米間の絆が深まりました。（高専後援会長 Y）

# OBクリスマス会

毎年恒例のクリスマス会が12月2日に開催されました。クリスマス会はむらさきOB会最大の行事で、今回は卒業生219名が集まり、先生方、お手伝いの保護者、私達幹事を含めて300名ほどが会に参加しました。クリスマスらしいメニューのお弁当を食べながら、一足早いクリスマスプレゼントのくじ引き大会、新人の先生方による余興、クリスマスソングや学園歌を歌い楽しい時間はあっという間に流れました。久しぶりに会う先生方やお友達と楽しそうにお話しをしたり、嬉しそうにプレゼントを受け取ったり、「また来年もクリスマス会に来ます。」と満足そうな顔で帰って行く姿を見て、私達幹事も嬉しく思い卒業生の笑顔に癒されました。そして、お忙しい中、いつもの温かい笑顔で卒業生を迎えご協力をいただきました先生方に感謝申し上げます。また、29期の保護者の皆様にも事前準備や、当日にお手伝いいただきましてありがとうございました。（むらさきOB会役員 M）



# ⇒卒業したら後援会OB会へ

こんにちは、後援会OB会です。私達は子ども達が卒業をしたあとも学園の応援団を続けていきたいという思いを持った保護者の集まりです。

学園の応援はもちろんですが、東学園での教育を望む親たちの応援団でもありたいと思っております。私たちの学園祭での売り上げは奨学金となり、この東学園の教育を望むご家族の支えとなっています。この素晴らしい学園生活を経験できた親子をもっとも増やすことができたならと願っています。煌めくような学園生活を卒業後も一緒にしませんか？

お子様の卒業の際に「武蔵野東学園後援会OB会入会のご案内」のお手紙をお渡しさせていただいておりますが、見当たらないときにも学園にお声かけいただければ、私達に届きます。

皆様との出会いを楽しみに待っています！

（後援会OB会役員 O）



## 編集後記

もう少しで桜の季節がやって来ますね。「桜」と言えば「卒業」。今回の後援会だよりの「卒業」特集、如何でしたでしょうか。この時期、卒業年次の生徒の皆さんやご家族の方々は武蔵野東学園で過ごした日々を様々な思いで振り返っておられるのではないのでしょうか。

卒業までの残り少ない日々、最後まで東学園での充実した生活を送っていただきたいと思います。卒業しても東学園での生活を通じて得たもの、特に「友愛」の気持ちを忘れずに、それぞれの新しいステージでの活躍を編集委員一同祈念しております。（編集委員 U）

### ●編集委員会（編集スタッフ）

高等専修	黒住千津	横田佐和子
中学校	増田久美子	工藤美智恵
小学校	川井知子	森百代
幼稚園	森布佐子	石川陽子
高等専修	臼井均	本間 聡
中学校	松井幹和	内藤忠男
小学校	咲間全雄	遠藤崇浩 荒井秀伸



# 武蔵野東学園 連合後援会だより



こんにちは。年末年始イベント、発表会、そして卒業。春なのに～♪(世代がバれますね)、という季節になりました。おー、親子で東ライフを満喫していたら、もう一年経ってしまった、という感じです。

今年度最後の後援会だよりをお届けします。執筆をお引き受けいただいた方、そして保護者の皆様の熱い想いを載せて紙面は、子たくさん、もとい盛りたくさんです。お楽しみください。（編集委員 E）

「あしたも幼稚園で遊ぶのが楽しみだなあ～」はにかみ屋の娘から何度も何度も聞いた言葉です。大好きなお友達と先生の温かさにたっぷり包まれて、朗らかに柔らかい笑顔で過ごした毎日。東幼稚園は、そこにいるだけでなんだか楽しくなっちゃう、幸せの宝箱でした。長女の入園から早6年。ぐいぐい女子の長女（小3）と甘え上手な次女は、共に年少から始めた課外ダンスで継続する事の大切さを学び、心身ともにまっすぐ、逞しく成長しました。不安の中でお引き受けした五役でしたが、情熱溢れる先生方、五役のお母様方、沢山の優しい保護者の皆様方に支え助けられて、きらめく子ども達の笑顔やチャレンジを間近で見ながら3年間楽しく後援会活動に参加させて頂きました事、心から感謝申し上げます。

G I F T。娘たちが結んでくれた人とのご縁という東学園からのかけがえのない贈り物を母娘で共有しながら歩んで参りたいと思います。東学園の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。（幼年長保護者 K）

大きな制服に身を包み、背中のランドセルがとても大きく見えていた入学式。2人の息子がお世話になり、この春、次男が武蔵野東小学校を卒業いたします。息子たちは熱意溢れるご指導をしてくださる先生方に温かく見守られ 互いに切磋琢磨できる仲間と出会い、たくさんの貴重な経験を通して大きく逞しく成長しました。小学校で学んだことを糧にこれからも一歩ずつ前に進んでいくことでしょう。私の3年間の後援会活動は、新たな出会いに恵まれ楽しく充実した日々を過ごすことができました。先生方をはじめ、役員の方々、保護者の方々に見守り支えていただき、多大なご協力により、今日まで務めることができましたことを心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。最後になりますが、東学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。（小6年保護者 W）

# 卒業にあたって

「卒業」が本当に寂しく感じられます。東学園の建学の精神に胸を打たれ、ご縁をいただき早9年、私ども家族にとってこの9年間は、溢れるほどの愛しい思い出に彩られた宝物です。先生方の熱意あるご指導の下、混合教育という恵まれた環境の中で、親子ともども様々なことを学ばせていただきました。言葉では言い尽くせないほど感謝の気持ちでいっぱいです。東学園での経験・学びを糧に尚一層努力し、これからも人生という山道を登ってまいります。

先生方をはじめ、保護者の皆様、お世話になったすべての方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。東学園の益々のご発展を心から願っております。（中3年保護者 N）

東学園に入学させて頂いてから、早15年。いよいよ卒業の時を迎えることになりました。幼稚園時代は、見通しが立たず不安になり泣いていた息子も、数々の行事、日々の学校生活を通して、たくましく、少しずつですが確実に成長することができました。そして、高等専修学校では、バディさんや友達と一緒にかけがえのない時間を過ごすことができました。いつも丁寧にご指導くださいました先生方、共に歩んできた友達、子どもの成長を願い、悩み、喜びを共にしてきました保護者の皆様に、感謝の気持ちでいっぱいです。卒業を迎え、寂しさや新たな不安もありますが、東で培ってきた根気、充実した日々の思い出とともに、親子共々、前に進んでいきたいと存じます。

最後になりましたが、後援会では先生方のお力添えのもと、保護者の皆様にご協力頂き、楽しく活動することができました。ありがとうございました。東学園の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。（高専3年保護者 I）

# 発表会



いつまでも鳴り止まない拍手と大歓声の中に立つ子どもたちが、とても頼もしくそして愛しく思えて…そんな感動の中、幼稚園最後の発表会が終わりました。小さな体で初めての大舞台に立った年少の時から娘は年長さんの舞踏劇に感動を覚え、憧れを抱いてきました。そしてとうとう娘も年長になり舞踏劇の練習を始めたある日、こう言いました。「どうすれば笑顔で踊れるの？」人前で笑顔になることが苦手な娘にとって、役を演じ表現することは、想像以上に難しいようでした。その日から「どうすれば笑顔になれるのか」常に考えながら毎日笑顔の練習をしました。そして迎えた発表会当日。「思いっきり楽しんでね」と声をかけて送り出しました。演目が進みとうとう年長女子の舞踏劇。ドキドキする親の心配を吹き飛ばすほどのとびきりの笑顔の娘がそこにはいました。その頑張る姿に胸が熱くなりとても感動しました。大舞台でやり遂げたからこそ得ることのできる大きな自信と確かな成長。始まりと終わりでは、どの子も本当に顔つきが違い、達成感に溢れていました。ここまで子どもたちを支え、ご指導くださった先生方に、心から感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。(年長保護者 K)

「どうか泣かないで、最後まで取り組みますように」発表会で唯一娘に望むことでした。緞帳が開いた瞬間、親には分かる娘の泣き声…顔を見るとべそかき顔…。ところが、演奏が始まるとしっかりと鍵盤ハーモニカを構えて吹き始めました。泣きそうな顔をしながらも頬を膨らませ懸命に吹き続け、途中からは笑顔になり、演奏が終了。これほどまでに集中してひたむきに取り組み、最後まで何かをやり遂げた娘を見たのは初めてです。帰宅後にビデオで見返し、娘の前に先生が座り、細やかに指示してくださっていたことに初めて気が付きました。一緒に頑張ってきた子供達と信頼する大好きな先生に見守られ、本番を乗り越えられたのだな、と改めて感動しました。日々の練習から寄り添い、励まし、指導される先生方はどんなに大変なことか、本番で、子供達に配慮しつつ舞台を滞りなく進行させることはどんなに大変なことか…本当に感謝の気持ちで一杯です。素敵な発表会をありがとうございました。(小1保護者 H)



武蔵野東学園の発表会は、小学校1年生から中学校3年生という年の離れた子どもたちが、同じ舞台上で演技を行うということが最大の魅力だと思います。小学校全学年のABクラス女子による舞踏劇は、低学年の可愛らしさと高学年の恰好良さが対照的な、変化の大きいこの年代ならではの魅力的な舞台でした。中学校1,2学年ABクラス男子の演技は、まだあどけなく繊細な1年生とは対照的に2年生は力強く、その成長をまざまざと見せつけてくれました。

通常、発表の場では学年がそれぞれの演技を行い、お互いに鑑賞することが一般的ですが、武蔵野東学園の発表会のように1つの作品を、学年を超えて合同で作上げる事は本当に少ないのではないのでしょうか。子どもの縦割り交流が少ない現代、合同で一つの作品に打ち込む刺激的な時間を子供達は楽しみ、笑顔が溢れるこのような舞台に繋がったのだらうと思います。

この発表会を拝見し、私も息子の成長を振り返りながら、子どもの将来を夢見て、嬉しさと寂しさと期待が入り混じりながらも、幸せな時間を過ごすことができました。(中1保護者 S)

# むらさき会新年会

1月20日(土)、むらさき新年会が今年も中学校「北原記念体育館」で行われました。会場は先生方が早くから暖房を効かせてくださりとても暖かくなっていました。寒い冬の日、東小金井の駅から歩いて来られた多くの皆さまは会場の暖かさにホッとされたのではないのでしょうか。新年会はテーブルで先生方を囲み、5月のむらさき懇親会とはまた少し違った雰囲気できっととお話できるような気がします。担任の先生とこの一年を振り返りながらお話をされたり、なかなかお会いできなくなったかつての担任の先生とお話しされたりとそれぞれに会話が弾んでいるようでした。私もたくさんの先生方や他学年の保護者の方に声をかけていただきとても嬉しく、楽しい時間を過ごさせていただきました。先生方には準備から後片付けまで大変お世話になり感謝申し上げます。また保護者の皆さまもご協力ありがとうございました。(高専1年保護者 M)

# 成人を祝う会

1月6日土曜日に、第28期成人を祝う会が、高等専修学校講堂にて開催されました。当日は天気にも恵まれ、卒業以来の懐かしい顔が、スーツ、晴れ着姿も華やかに、懐かしの母校に集いました。働いている卒業生の中には、休みをとる事もままならぬ事情のある子どもたちも少なくなかったようですが、二十歳の節目に母校で集おうと参加者は当日まで増え続け、卒業生58人、保護者兄弟62人、そして先生方と、総勢150人あまりの盛大な会となりました。会は祝辞のあと、余興、近況報告、記念写真撮影と盛り上がり、なかでも、久しぶりの再会にもかかわらず、むらさき会の子どもとパディさんの温かいやり取りには、胸が熱くなりました。すでに社会の荒波にもまれ、それぞれの道を歩みだしている子どもたちですが、卒業してからも、こうしていつでも温かく迎えてくれる母校、先生方、そして仲間がいる事は、かけがえのない財産です。この絆をこれからも大切に、それぞれの道を一步一步、歩んでいく姿を応援していきたいと思います。(高専28期卒保護者 I)



# 餅つき



「とうちゃん、ようちえんのおもちつきにくる?」「お、いいねえ。じゃ、一緒にお餅つきしようぜ!」子どもからの問いかけに快く応じ、幼稚園のお餅つきイベントにお手伝いとして参加しました。当日の朝、園に到着してみると何処からともなくあの懐かしい、蒸したもち米の匂いが漂ってきました。園庭では武蔵野郷土民謡保存会の方々、園の先生方が既に準備を始めており、お父様方のやる気に満ちた顔もちらほらと。「おもちつきだー!」という歓声とともに園児達が園庭へと降りてきて、臼の周りに集まってきました。先生方の「この道具の名前、知っているひとー?」「お餅って、最初はこんな粒々なんだよ、触ってみる?」「お餅になると、ほら、こーんなに伸びます!伸ばしてみよっか?」という問いかけに対して、我先にと答える園児達。机上だけでなく、実際に経験させるという事の大切さを改めて感じることができました。さて、お餅つきの開始です。先ずはお父さんから。民謡保存会の方々に指導頂き、不慣れながらもなんとかやり遂げることができました。次は園児達の番です。サポートのお父さんと一緒に杵をもって、「よいしょ!」「おりゃあ!!」と色んな掛け声、そしてつき終わったら「イェーイ、いっぱいおもちをつけたよ〜、ありがとう!」との一言。幼稚園のイベントに参加してよかったなあ、と思った瞬間でした。「ただいま〜! おもちってねえ、ぷにぷにしているの。でね〜、おいしかった〜!」(年長保護者 K)